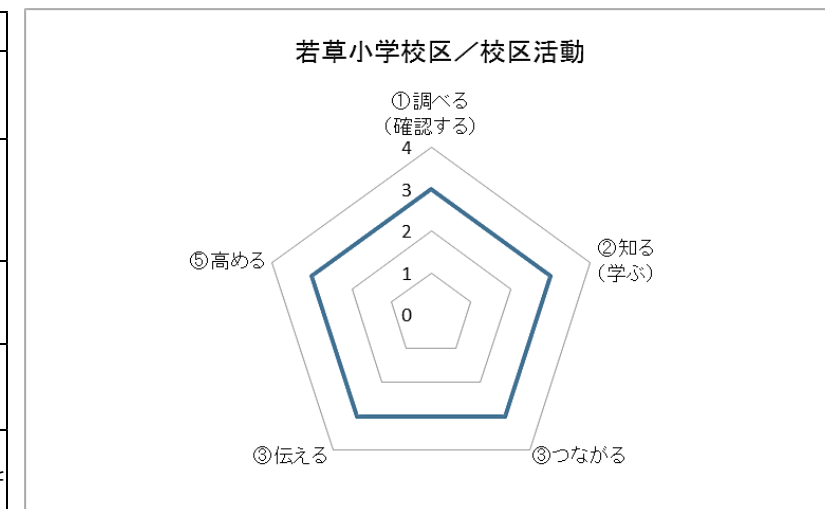


若草小学校区

若草小学校区

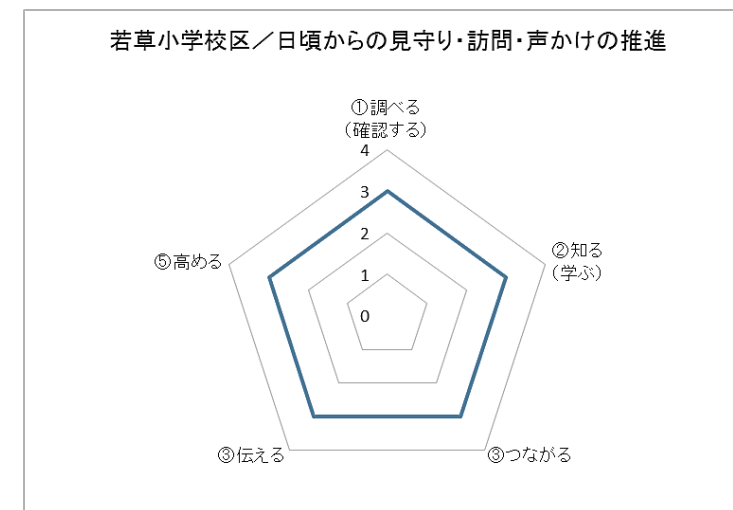
①校区活動

評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	○校区の実態を確認することができたか ・住民座談会や校区推進委員会等での意見交換を通じた地域の状況を共有することができた。	3	・住民座談会や校区推進委員会で、普段関わることの少ない方にも参加してもらうことが必要。
②知る (学ぶ)	○知る・学ぶ機会を設けることができたか ・住民座談会では、校区内で車椅子で生活されている方に地域の中で課題について話してもらうことで、地域の中に埋もれている課題を当事者の話しから学ぶことが出来た。 また、車椅子の操作体験を行うことで、車椅子で生活している人の目線に立って地域の課題について考える場となった。	3	・昨年度は、「障がい」にテーマ当事者にスポットをあてて座談会を実施したが、当事者と専門機関との関わりについての紹介も必要であった。
③つながる	○関係する団体等との程度つながることができたか ・みなカフェ(特養わかくさ)やちよこっと茶屋(コープさっぽろ)を通し、地域包括支援センターけいあいと現在も繋がっている。	3	・校区内の専門機関との繋がりが少ない為、今後は、様々な機関を巻き込みながら推進していきたい。
③伝える	○どのくらいきずなを伝えることができたか 住民座談会等できずなを伝えることができた。	3	・住民座談会できずなの説明を行い、広めることが出来たが、まだ一部の人のみなので今後も校区に浸透させていけるよう努めたい。
⑤高める	○地域をよりよくすることにつながったか ・小地域ネットワーク活動やサロン活動等を通して、普段からの見守りを行うことが出来た。	3	・鍵預かりモデル事業などを通して、さらに小地域の強化に努めたい。また、民生委員や町内会などとの連携も密にしつつ継続的に実施していきたい。



②日頃からの見守り・訪問・声かけの推進

評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	○校区の実態を確認することができたか ・H28年度は、新規で1町内会が小地域の活動に参加した。よって、7町内会中5町内会が参加している状況である。	3	・H29年度は、全町内会が実施するよう小地域の推進を行なっていきたい。
②知る (学ぶ)	○知る・学ぶ機会を設けることができたか ・住民座談会を通して、小地域の実施状況や目的などを参加者が学ぶことができた。	3	・H29年度も引き続き、推進委員会や座談会などで紹介していきたい。
③つながる	○関係する団体等との程度つながることができたか ・H28年度から鍵の預かりモデル事業を通して特養わかくさなどと鍵の預かりを通じた見守り活動を行なっている。	3	・鍵預かり事業を行う上で、特に鍵を借りる事例は出なかったが、いざというときに備えて事業所などと連携を密にしていきたい。
③伝える	○どのくらいきずなを伝えることができたか ・新しく実施した町内会を始めとする実施町内会へきずなを伝えることができた。	3	・未実施町内会に対しても小地域の推進を行うと共にきずなの推進を行なっていきたい。
⑤高める	○地域をよりよくすることにつながったか ・小地域を行うことで、日頃から顔繋ぎができています。	3	・実施町内会についても新しく見守りが必要な世帯が無い確認しながら推進していきたい。

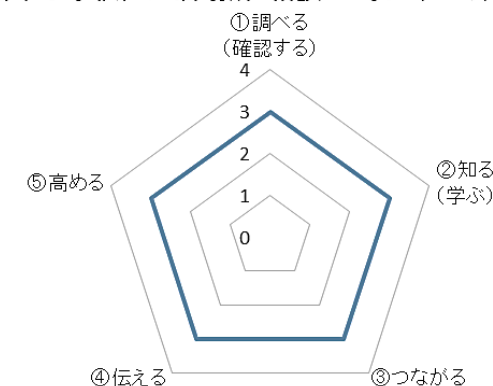


若草小学校区

③居場所・相談・つながりづくりの推進

評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	○校区の実態を確認することができたか ・新しくできたサロンは無いが、既存のサロンで継続して活動している。	3	・地域の中で、気になる人をサロンに参加してもらえるよう活動していきたい。
②知る (学ぶ)	○知る・学ぶ機会を設けることができたか ・各サロンを運営する中で、地域との関わりが少ない住民と関わることができた。	3	・引き続き継続して行いたい。
③つながる	○関係する団体等との程度つながることができたか ・会食会を通して、地域で見守りが必要な高齢者と繋がることできた。 また、何らかの理由で会食会会場まで来れない方については、会食会のお弁当をお宅へ届けに行くことで、見守り活動に繋がっている。	3	・引き続き継続して行いたい。
④伝える	○どのくらいいずなを伝えることができたか ・通常のサロン活動や会食会を通して、参加者に伝えることができた。	3	・引き続き継続して行いたい。
⑤高める	○地域をよりよくすることにつながったか ・サロンや会食会を通じた見守り活動も出来ている為、地域福祉をより良いものにする為には役割が大きい。	3	・引き続き継続して行いたい。

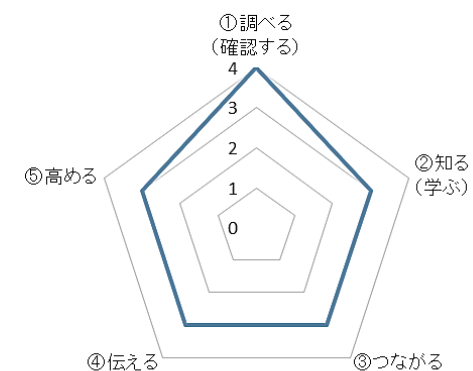
若草小学校区／居場所・相談・つながりづくりの推進



④防災活動

評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	○校区の実態を確認することができたか ・住民座談会で校区内で生活している障がい当事者に普段の生活や大規模停電の講話をしていただいた。	4	・地域の中で課題を抱えて生活している人の話しは、地域住民を対象した座談会ではその人の生活状況などイメージしやすいので、当事者に協力してもらうことは効果的である。
②知る (学ぶ)	○知る・学ぶ機会を設けることができたか ・各町内会では、避難訓練等行われている。 また、住民座談会では、災害時に車椅子ユーザーの対応ができるよう車椅子の介助方法を学ぶ機会を設けた。	3	・引き続き継続して行いたい。
③つながる	○関係する団体等との程度つながることができたか ・避難訓練等を通して住民同士の顔の繋がりが出来たが、主に健康な人の参加が多かったが、災害時支援が必要な障がい者や高齢者の参加がほぼなかった。	3	・H29年は、サロン参加者や支援を必要としている人にも参加してもらえるよう呼びかけたい。
④伝える	○どのくらいいずなを伝えることができたか ・防災活動を通じた地域とのネットワークづくりを行なえた。	3	・引き続き継続して行いたい。
⑤高める	○地域をよりよくすることにつながったか ・避難訓練を実施することにより、地域住民同士の顔の繋がりが増えた。	3	・引き続き継続して行いたい。

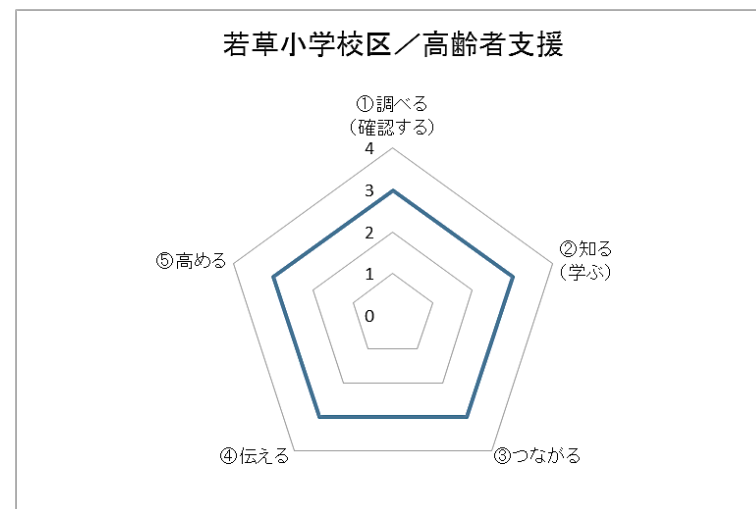
若草小学校区／防災活動



若草小学校区

⑤高齢者支援

評価指標	内容	点数	平成29年度に向けて
①調べる (確認する)	○校区の実態を確認することができたか ・鍵の預かりモデル事業を通して地域の独居高齢者の状況を確認することができた。	3	・引き続き継続して行いたい。
②知る (学ぶ)	○知る・学ぶ機会を設けることができたか ・鍵預かり事業を通して、きずなや地域の状況を学ぶことができた。	3	・協力者や対象者の発掘を行いたい。
③つながる	○関係する団体等との程度つながることができたか ・鍵預かりモデル事業を通して、特養わかさや民生委員などと連携して行うことができた。	3	・H29年については、特に鍵を開ける事例は無かったが、いざという時スムーズに行動できるよう備えたい。
④伝える	○どのくらいきずなを伝えることができたか ・モデル事業協力者を通じて、利用者に対しきずな情報提供を図った。	3	・引き続き継続して行いたい。
⑤高める	○地域をよりよくすることにつながったか ・独居高齢者のいざという時の為、また、鍵の預かりを通じた日頃の見守りが出来た為、この事業を行う役割は大きい。	3	・引き続き継続して行いたい。



校区きずな推進委員

リーダー	南 行雄	きずな推進委員	境 幸子	きずな推進委員	中島 康晴
サブリーダー	伊藤 秀男	きずな推進委員	星 康彦	校区きずな推進委員	伊藤 修二
サブリーダー	松川 陽子	きずな推進委員	堀川千恵子	校区きずな推進委員	相馬 眷三
きずな推進委員	森田 只志	きずな推進委員	植田 正子	校区きずな推進委員	長内 正二
きずな推進委員	高橋 正子	きずな推進委員	関 國男	校区きずな推進委員	西村 孝夫
きずな推進委員	西村美代子				

重点項目実績

1. 校区活動

時期	名称	人数	内容
7月15日	第1回若草小学校校区きずな推進委員会	14	リーダー・サブリーダーの選出について 鍵預かりサービスについて 第2期計画の評価について

時期	名称	人数	内容
3月21日	若草小学校校区住民座談会	25	第3期きずな計画説明と校区の取り組みについて 車椅子ユーザーの講話 車椅子試乗体験 意見交換

2. 日頃からの見守り・訪問・声かけ（小地域ネットワーク活動、ふれあい会食会）

小地域ネットワーク活動

若草町内会	旭ヶ丘町内会
若草第二町内会	美園町会
美園南町内会	桜ヶ丘町会

実施率 86% (6 / 7)

ふれあい会食会

若草町内会	旭ヶ丘町内会	美不二町会
若草第二町内会	美園町会	桜ヶ丘町会
美園南町内会	実施率 100%	

(7 / 7)

3. 居場所・相談・つながりづくりの推進（ふれあい・いきいきサロン）

若草町いきいきサロン	いちにのさん
いきいきサロンM・K・P	美園町会いきいきサロン
なかよしサロン	みんなでいきいき